

| <b>平成 30 年度第 1 回大野城市上下水道事業運営審議会 会議録</b> |  |
|---|--|
| 日 時                                     | 平成 30 年 6 月 27 日 (水) 14 : 00 ~ 15 : 45   |
| 開催場所                                    | 市庁舎新館 4 階 426 会議室  |
| 出席者                                     | 審議会委員 : 広城会長、鳥居副会長、斧田委員、小原委員、高原委員、田口委員、西本委員 以上 7 名<br>上下水道局 : 賀村上下水道局長、原田企業総務課長、中野上下水道工務課長、松竹料金施設課長、多々良浄水課長、他 8 名 (係長、担当) 以上 13 名  |
| 欠席者                                     | なし   |
| 傍聴者                                     | なし   |
| 議 題                                     | ① 中期経営計画検証報告 (資料 1、資料 2)<br>② 上下水道ビジョン及び上下水道事業第 3 次中期経営計画策定骨子 (案) について (資料 3、資料 4)<br>③ 事業計画作成例について (資料 5、資料 6)  |
| 資 料                                     | ① 【資料 1】大野城市水道事業中期経営計画検証報告書<br>② 【資料 2】大野城市下水道事業中期経営計画検証報告書<br>③ 【資料 3】上下水道ビジョン及び上下水道事業第 3 次中期経営計画策定骨子 (案)<br>④ 【資料 4】計画の方向性<br>⑤ 【資料 5】主要施策一覧表 (案)<br>⑥ 【資料 6】事業計画作成例   |
| 議 事                                     | <p>◇開会</p> <p>◇委嘱状交付</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・斧田委員へ委嘱状の交付</li> <li>・斧田委員よりあいさつ</li> </ul> <p>◇異動職員あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 30 年度に異動してきた職員の自己紹介</li> </ul> <p>◇諮問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・諮問内容 : 大野城市上下水道ビジョン及び大野城市上下水道事業第 3 次中期経営計画について</li> </ul> <p>◇会長あいさつ</p> <p>◇傍聴人の確認 (傍聴人なし)</p> <p>◇議題</p> <p>① 中期経営計画検証報告</p> <p>【資料 1】大野城市水道事業第 2 次中期経営計画検証報告</p> <p>(市) 資料 1 に沿って、達成度が B 評価以下の事業について、説明。</p> <p>◆質疑</p> <p>(委員) ⑤<u>収納方法拡大の検討</u>について、この取り組みは収納率を上げるための取り組みですか、それともお客さんが払いやすくするためのサービス拡大です</p> |

か。

(市) 両方と考えています。ニーズに応えるということもありますし、それが収納率の拡大にもつながってほしいと考えています。

(委員) 現在の収納率はどのくらいでしたか。

(市) 平成 28 年度の実績で収納率は 98.48% です。滞納金額は約 2 千 6 百万円です。

(委員) 未納の方たちが払わない理由というのはどのようなものですか。クレジット払いを導入することで払う可能性が高くなったりするものですか。

(市) クレジット収納を導入することで、少しは収納率が上がると思うのですが、滞納の理由はいろいろな要因がありますので、それぞれにあわせた滞納対策をきちんとやるということが重要であると思います。

(委員) それでは、クレジット収納の導入というのは、お客様のサービスの向上が主の目的となるということですね。

(委員) 先ほど言われた 2 千 6 百万円というのは、1 年間でですか。今までの累積はどのくらいになるのですか。

(市) 1 年間です。累積では 9 千万円ほどです。

(委員) 未納件数は何件くらいですか。

(市) 滞納者数は約千人です。件数については、同じ滞納者が複数件の滞納を行っていることも多く、件数は分かりません。

(委員) ⑩広域化の検討について、広域化とは具体的にどのような地域が一緒になって、具体的にどのような部分を広域化すると考えているのですか。

(市) 広域化の形としては、大きく 2 つあるのではと思っています。

1 つには、事業自体の広域化。上下水道事業自体を複数の事業体が一緒に行うことで、施設数の減少や維持管理にかかるコスト削減を図るものです。

2 つには、施設だけの共同化。例えば、太宰府市と大野城市の市境にあり、同じように老朽化し、建替えの時期が来ている施設がひとつずつあり、また、それぞれが同じ場所に同じような施設を作るのかということです。

現在、福岡都市圏で協議しているのは、どちらかという 2 つ目の施設の共同化から考えていきませんかということで調査検討を行っている状況です。

(委員) 達成度が C ということはなかなかその話し合いがうまく言ってないということですか。

(市) そうですね。

(委員) ②水源保全活動について、参加回数が指標として設定され、A 評価になっているが、この項目としては、環境保全にどの程度貢献できたのかということが達成度となるのでは。あるいは、この活動に参加した市民の意識が高まって、自分たちが飲んでいる水はどこから来ているのかとか、山の中への不法投棄はしないというような意識が高まるのが達成度になる気がします。

(市) 水源保全活動がどの程度、環境保全に寄与しているかを明確に示すことはできませんので、本市としては、福岡都市圏の中でも特に積極的に水源保全活動に参加している実績がありますので、A 評価としています。確かに成果指

標ではなく、活動指標になるので、次期の計画策定の際にはどのような指標としていくか等も含めて検討していきたいと考えております。

(委員) ④貯水槽水道の衛生管理指導について、10 m<sup>3</sup>以下の貯水槽についてはどのような対応をされていますか。

(市) 10 m<sup>3</sup>以下の貯水槽については法定義務がありませんので、管理者に対し、通知を送って適切な衛生管理の指導をお願いしています。

## 【資料2】大野城市下水道事業第2次中期経営計画検証報告

(市) 資料2に沿って、達成度がB評価以下の事業について、説明。

### ◆質疑

(委員) ⑫人材育成について、達成度について、年2回の研修を実施したのでA評価ではなく、研修後に理解度を測るような試験等を行っていないのですか。

(市) 試験等は実施していませんが、下水道事業団研修等の外部の研修に参加した際の知識が定着しているかということを確認するため、また説明能力向上のため、講師として研修で学んだことを説明する場を設けて、知識の定着や情報の共有ということを行っています。

(委員) 研修を聞くだけではなくて、それをきちんと吸収しないと人に説明できないということですね。

(委員) ⑧水洗化の促進について、水洗化してくださいというお願いが主で、補助金とかの手段はないのですか。

(市) 補助金制度自体はありますが、啓発は基本的にはお願いです。

(委員) 現状として、汲み取りをする費用と下水道をひいて処理する費用は、汲み取りの費用の方が安いのですか。料金比較という視点からアプローチしていくことで水洗化率が少しは変わるのではないのでしょうか。

(市) 前所属課で、し尿の関係だったのですけれども、その時はまだ下水道の方が高く、汲み取りの方が安いということでした。また、し尿は金額も近郊の市町で決めるとなっていますので、これらの要因もあり、なかなか進まないという話は聞いていました。

## ② 上下水道ビジョン及び上下水道事業第3次中期経営計画策定骨子(案)について

### 【資料3】上下水道ビジョン及び上下水道事業第3次中期経営計画策定骨子(案)

### 【資料4】計画の方向性

(市) 資料3及び資料4に沿って、内容説明。

### ◆質疑

(委員) 次回は、何を説明するのか、具体的にお願いします。

(市) 次回はビジョンの素案と中期経営計画の事業計画を説明させてもらいたいと考えています。資料5の様式で事業のとりまとめを行いまして、次回説明さ

せてもらおうと考えています。

(委員) 委員の意見反映というのはその時に言えばいいのですか。こうなっているけど、こうした方が良くとかいう内容は、次回1項目ごとに言えばいいのですか。

(市) そうです。現在の中期経営計画から継続して実施していかないといけないと考えている項目と新規で事業を実施する項目を検討中ですが、今回の資料5で示させていただいております。

(委員) 広域化の話にも関係してくるかもしれませんが、福岡地区水道企業団に対するスタンスとして、今後どのようにしていくのかということは考えていますか。例えば、福岡地区水道企業団は現在、福岡市職員ばかりですが、構成団体は10数市町ありますので、職員派遣というようなことは考えられないかと。下水道事業についても同じで、処理場関係については、現在、県が行っており、大野城市はノータッチの状況だと思います。そのような視点からも考えられないかなと思います。

(市) 水道は検討できると思うが、下水道は難しいと思います。

(委員) できる、できない等もあるでしょうが、そのような点も検討されたらという意見です。

### ③ 事業計画作成例について

#### 【資料5】主要施策一覧表(案)

#### 【資料6】事業計画作成例

(市) 資料5及び資料6に沿って、内容説明。

#### ◆質疑

(委員) 作成例の様に、写真を掲載してもらおうと分りやすいと思います。

(委員) 今後の事業を考える上で、子どもたちがHP(キッズページ)を見ない理由をもう少し考えて、イラストを加える等、少しでも興味が持てるようなページとなるようにしてもらいたい。

(市) 他市のホームページの状況等を調べながら、子どもたちにどのような形で伝えていくのが良いかということも踏まえながら、いろいろな方法を考えていきたいと思います。

(委員) 人材育成についてもそうなのですが、年2回の研修という取り組みがずっと続いてきていますが、今回せっかく新しい計画になるのであれば、もう少し他の考えも取り入れて、新しいことも考えられても良いのかなと思います。人材育成はもっと大きな分野であると思いますので、もっと良く人が育つためにはどうしたらいいかという視点で、今まではこうだったからそれを継承するというのではなく、もうちょっと良くするためには、こういう計画や目標を持ったらいいのではないかという、新しいものを工夫しましたよというところが新しい計画では見られたらいいのかなと感じます。

(市) 今回いただきましたご意見も踏まえながら考えていこうと思っています。

(委員) 水道は、厚労省のHPで新水道ビジョンが掲載されていますが、事前にこの新水道ビジョンを見ていると、今までの話の内容が理解し易かったと思います。

(市) 事務局で準備し、委員の皆さまに送付します。

(委員) 新水道ビジョンはバイブルとなっています。これを基に福岡市も長期ビジョンを作成しておりました。新しい切り口という点では、福岡市はコンパクトシティを掲げていますし、新エネルギーという視点を入れるような経済産業省の動向とか、厚労省も、例えば浄水場に小水力発電の導入等も言っていますので、新しい動向等も含めた新しい計画となるように見ていかないといけないと思っています。

(委員) それでは、議題が全て終わりましたので、以後の進行を事務局にお返しします。

**◇事務連絡**

次回審議会予定：8月下旬

**◇閉会の挨拶(賀村上下水道局長より)**

以上